

# こやす坂

第 42 号

平成 29 年 9 月 29 日

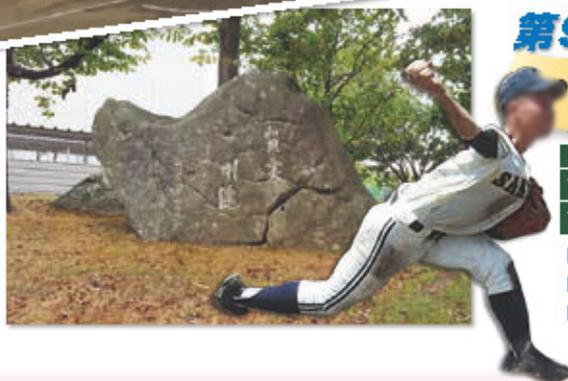
発行  
金沢桜丘高校 PTA



## 第 99 回全国高等学校 野球選手権石川大会

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
金沢桜丘	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
金沢市工	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	5

- 1 回戦 7/15 金沢桜丘 14-0 金大附属
- 2 回戦 7/18 金沢桜丘 6-2 尾山台
- 3 回戦 7/21 金沢桜丘 4-5 金沢市工



平素より本校 PTA 活動にご理解、ご協力賜り誠にありがとうございます。今夏は数年前より、野球部石川県大会に全校応援を行うという生徒、職員、OB、保護者が愛校心のもと気持ちを集中させる一端を経験できましたこと本当に喜ばしいことでした。

その熱い思い出、愛校心をもった生徒たちによる「桜高祭」がさる九月一日、二日と行われました。今年も二日目が一般公開により予想以上の方々に来て頂きました。この学園祭のなかで「活躍する子」という者が必ず出てきます。部活動の発表や合唱、クラスイベント、模擬店で一般社会で言われる有能な経営者、管理職レベルのリーダーシップを発揮する子は勿論ですが自宅に持ち帰ってまで、飾り付け等を製作する子、しかもそのクオリティはプロ級です。また裏方にまわり調理等をする子、決して消極的な生徒がやっていると決まらずに、責任感の強い生徒が担当することが多いように思われます。こういった、行事に向けてクラス一丸となって自分の得意分野、個性を最大に発揮する行動はきっと社会人になったときには素晴らしい糧となり「活躍する社会人」となることでしよう！その逞しい精神をもった桜高生たちによる「桜高祭」でした。



## 桜高祭から 3S 歩行に向けて

PTA 副会長 山岸 研一

さていよいよ、本校の一大イベントである「3S 歩行」が十月一日(日)に行われます。平成元年からスタートしたこのイベントも今年で二十九回目を迎えることとなりました。3S 歩行の目的でもある、Spirit(精神力)(Sympathy(風Sヤリ)そして Self-Control(自己管理)のもと行われるのですが、生徒たちはもとより、親でさえも「なぜ、こんな困難な行事をするのか」とうせ先歩できないから意味ない」等の話が出てくると聞きました。数年前にも歩行距離短縮等の議論があったと聞きます。しかし、その時の大多数の意見が本行事は先歩することではなく、苦しみからの達成感、先歩できない悔しさを経験することも今後の社会人になった際には最大に活かせることでした。昨今指摘される「甘い子は甘い親から育つ」といわれることから、悔しさを経験させるといいうのも一つの教育という精神であると感じます。

長距離歩行という行事は県下を見渡しても本校しかない行事です。最近では就職面接等で大学の話から通り、高校が桜丘ということから 3S の話題になるというくらい知れわたった名物行事です。生徒を本當の意味で支える我々も無事成功に向け頑張っていきたいと思います。多数の方のご協力お願いいたします。

北信越地区高等学校PTA連合会  
研究大会(富山大会)に参加して

PTA副会長 水野 友文

一学期の期末試験が最終日を迎え、夏休みも目前に迫る七月七日、八日の両日、平成二十九年度北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会が、富山県民会館ホールをメイン会場とする高山駅周辺の4会場で開催され、金沢桜丘高校からは、下根校長、角谷教諭、熊野PTA会長、山岸副会長に私を含めた五名が参加しました。

初日開会式が行われた後、メイン会場では富山県立南砺平高等学校潮土芸能部の生徒達による「こきり」を含めた越中五箇山民謡の演奏と演奏が披露されました。同芸能部は、全国高等学校総合文化祭で最優秀賞・文部科学大臣賞も近年二度受賞しており、その伸びやかな歌声、場内に響き渡る楽器の音色、優雅でかつキラキラある踊りは、観る者に伝統芸能を継承する若い世代の気迫と、その力強さを存分に伝えてくれました。

若き伝承者達の伝統芸能を鑑賞した後、第一から第四分科会に別れて各校の研究発表があり、私は、熊野会長とともに、メイン会場から徒歩でサンシップとやまホールへ移動し、第四分科会「家庭教育とPTA」に参加してきました。

第四分科会一校目の発表校、石川県立金沢商業高等学校は、「学校自慢」と称し、生徒による全商デパート、旅行ツアー企画販売、兼土八面での観光ガイドなどの特色ある教育カリキュラムについて詳しく述べられた後、これらのカリキュラムが親子の会話の潤滑材となっていることとお話されました。確かに同校の教育カリキュラムは魅力的であり、これを話題に親子で色々話すことができ、保護者は高校生の我が子を知る良い機会になるに違いありません。では、我々にとつての潤滑材は何なんでしょうか。やはり「50歩行」なのではないでしょうか。保護者500名以上が参加するという学校行事は極めて稀であり、全商デパート

に負けず劣らない親子の会話の潤滑材になつていないに違いありません。

二校目、富山県立高岡高等学校は、近く創立120周年を迎える文武両道を実践する伝統校であり、その学校紹介に加え、PTA実施のアンケート結果を報告して下さいました。なかでも、保護者が家庭教育を重視するものとして、子供を「褒める」ことを心がけているというアンケート回答が95%だったことに、多少の違和感を感じました。幼い子供ならばいざ知らず、大人が高校生を褒めることの効果の如何はどうなのか、上下関係「ありき」の「褒める」行為は、果たしてこの年代に何を思わせるのか、自分自身に問いかけてみました。できるものであれば、上下関係ありきの「褒める」を選択せず、「対等」な立場で子供の喜怒哀楽に「共感」したいと、私は思いました。

三校目の新潟県立小千谷高等学校は、同校でのPTA活動を詳しく説明して下さいました。なかでも「谷校長しゃべり場」に強い興味を感じました。これはPTAと生徒会とのいわゆる懇談会だそうです。具体的には、生徒会とPTAとが対話の機会を持つことで、生徒から生の意見を要望を聞き、PTAが生徒の「代弁者」となつて学校側へ提案するというものです。思えば、PTAが生徒会と直接対話する機会も稀であり、それだけでも保護者として得るものも多いでしょうし、何らかの形で、この取り組みを本校PTA活動に活用できるかもしれない、そんな風に思いました。

最後の福井県立丸岡高等学校は、地元にある僅か2校の中学校の卒業生で入学生徒の殆どを占める丸岡町唯一の高校で、親子二代丸岡高校卒業生も珍しくないという地元地域との繋がりがとても強い学校でした。同校PTAは、母親委員会が精力的にPTA行事を多数企画運営しており、なかでも地元企業や坂井市との協力のもと「ふるさと教育」の一環で全校生徒を対象に行つた「生徒と語る会」は、地域企業経営者のパネルディスカッションの後、生徒達がグループディスカッションを行い、その各グループに経営者も参加して意見交換をするというもので、地元企業就職という一つの選

択肢を生徒達に与える貴重な機会となつたようです。子供たちの地元Uターン就職を望む保護者と生産人口減少に歯止めをかけた地方都市との要望が上手くマッチングしたとでもユニークな企画であり、PTAによる地域貢献の新たな一歩を垣間見た気がしました。

翌日のメイン会場での記念講演は、富山県出身の女優室井滋さんと北日本放送ラジオパーソナリティ鍋田恭子さんの軽妙なトークを、私をはじめ会場全体が大いに楽しみました。講演は、室井さんの熱唱ではじまり、室井さんと鍋田さんが北信越五県のご当地あるあるネタで会場を盛り上げ、室井さんがご自身のエッセイ集を朗読し、その十代の多感な時期の貴重なエピソードを語るといふものでした。なかでも、高校時代の室井さんが、自ら親たり読んだりした映画や書籍のレシートを貼りそれらの感想文を書き綴つたノートを、仕事の都合で家を留守にしがちな父と交換したことを経てエッセイの朗読は、特に記憶に残りました。このノート自体は映画や書籍に支払つた代金を父が娘に渡すための実用的なものでしたが、それが書かれた感想文は父が娘の今を知る大切な手紙であつたそうです。このエピソードはなかなか会話の中でできない親子間のコミュニケーションに新しい気づきを与えてくれるものであると思いました。

最後に、今回の北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会に参加させて頂き、改めてPTAの在り方、家庭での子供との接し方について考える良い機会となりました。そして、この研究大会に参加することで頂いたこと、心から感謝するとともに、夏休みはどのように終わっていきますが、この原稿を書き終え、ようやく私にとつての夏休みの宿題を終えることができました。



5月 陸上競技大会



4月 1年生遠足



4月 入学式



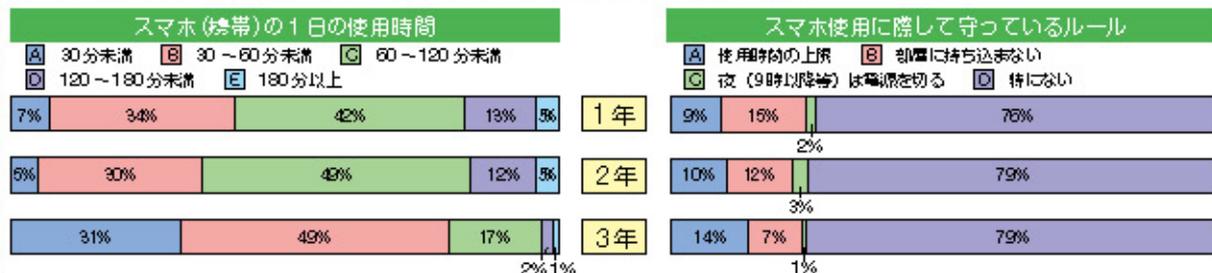




### 生徒学校評価(前期)の結果より

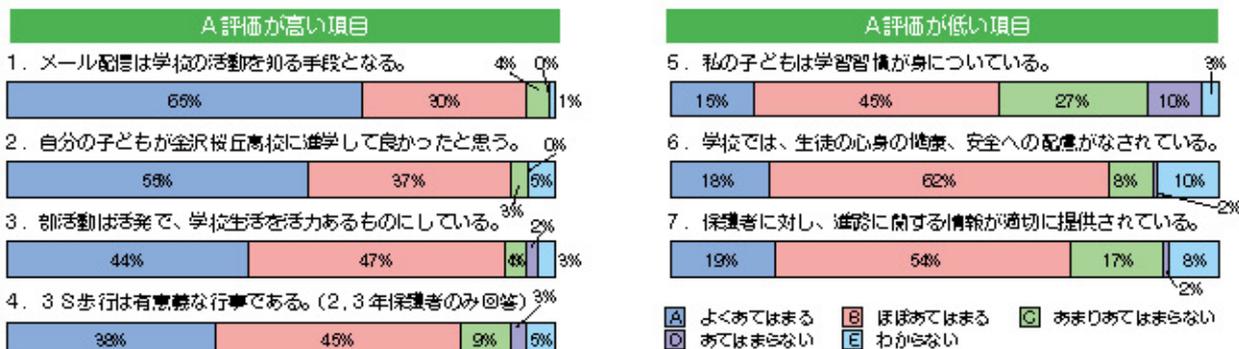
スマートフォンや携帯電話(以下「スマホ」と表記)についてのアンケートを実施しましたので、その概要をお知らせします。スマホの使用時間に関しては、1年生の18%(昨年度は20%)の生徒が1日に2時間以上使用しています。また、家庭で使用する際に守っているルールが「特がない」という生徒が78%にのぼります。

スマホなどの情報機器は便利な反面、学習への集中力が低下したり、SNSへの不用意な書き込みでトラブルに巻き込まれたりする危険性もあります。学年集会など機会があるごとに、生徒には注意喚起を促しておりますが、生徒が自律できる大人になれるよう、ルールを決め、しっかり守るように家庭でもご指導をお願いします。



### 保護者学校評価(前期)の結果より

各項目とも、概ね肯定的な評価(A+B)をいただいています。今回は、特にA評価が高い項目と低い項目をお知らせします。A評価が低い項目に関しては、学校評議会・学校関係者評議委員会の提言を基に具体的な対策を検討し、今後の取組を進めてまいります。



### 運動部各種大会上位入賞者

#### 平成29年度 石川県高等学校総合体育大会

サッカー部 ベスト8  
 男子バスケットボール部 ベスト8  
 男子バレーボール部 ベスト8



卓球部  
 男子団体 3位  
 女子団体 ベスト8



男子テニス部  
 男子個人 七浦 昂太 ベスト8

陸上競技部  
 女子100m 田中 里佳 1位  
 ※北信越大会出場



男子5000m 秋野 匠真 7位  
 男子800m 宮村 幸輝 8位

柔道部  
 男子66kg級 田辺 翔大 5位  
 ※北信越大会出場

剣道部  
 男子団体 ベスト8  
 男子個人 四郎丸将己 準優勝 ※北信越大会・インターハイ出場  
 西川 広隆 ベスト8 ※北信越大会出場

女子団体 準優勝 ※北信越大会出場  
 女子個人 徳山 瑠実 優勝 ※北信越大会・インターハイ出場  
 東 咲貴子 第3位 ※北信越大会出場  
 山下 珠梨 ベスト8 ※北信越大会出場

空手道部  
 男子団体組手 2位 ※北信越大会出場  
 男子団体形 3位

弓道部  
 男子個人 北形隆太郎 4位 ※北信越大会出場  
 女子団体 5位

#### 水泳部

男子400m個人M 秋野 匠真 5位 ※北信越大会出場  
 男子100m平 目網 広大 6位 ※北信越大会出場  
 女子200m背 三浦 撫子 3位 ※北信越大会出場  
 女子100m背 三浦 撫子 4位 ※北信越大会出場



#### ハンドボール部

男子 ベスト8  
 女子 ベスト6

ラグビー部  
 合同チーム 3位 ※北信越大会出場

フェンシング競技  
 男子エペ 西垣匠一郎 優勝 ※北信越大会・インターハイ出場

ボート競技  
 男子シノクスカル 竹田 響 3位 ※北信越大会出場

#### 平成29年度 北信越高等学校総合体育大会

剣道部  
 男子個人 四郎丸将己 3位



ラグビー部  
 団体Cブロック 合同チーム 3位

フェンシング競技  
 男子エペ 西垣匠一郎 優勝

#### 平成29年度 全国高等学校総合体育大会

フェンシング競技  
 男子エペ 西垣匠一郎 6位



#### 平成29年度 各種大会

男子テニス部  
 ・全日本ジュニアテニス選手権石川県大会U18  
 男子ダブルス 七浦 昂太 準優勝 ※北信越大会出場

陸上競技部  
 ・北陸陸上競技選手権大会  
 女子100m 田中 里佳 6位

剣道部  
 ・石川県段別選手権 供田 崇弘 優勝

### 文化部各種成績

#### ESS部

English Festival  
 ステージパフォーマンス部門 優秀賞  
 スピーチ部門 4位

#### 学曲部

石川県高等学校総合文化祭  
 邦楽合同発表会  
 優秀賞  
 (H30全国総文出場)



#### 吹奏楽部

石川県吹奏楽コンクール  
 高等学校A部門 金賞(県代表)  
 北陸大会出場  
 北陸吹奏楽コンクール  
 高等学校A部門 金賞



#### 合唱部

第34回石川県合唱フェスティバル  
 合唱Aグループ アンサンブル賞

#### 文芸部

全国高等学校総合文化祭 出場

#### 放送部

全国高校放送コンテスト石川県大会  
 朗読部門 最優秀賞 全国大会(NHK杯) 出場  
 制作ドラマ部門 最優秀賞 全国大会(NHK杯) 出場  
 ラジオトキュメント部門 最優秀賞 全国大会(NHK杯) 出場  
 アナウンス部門 優秀賞 全国大会(NHK杯) 出場  
 テレビトキュメント部門 優秀賞 全国大会(NHK杯) 出場



#### 全国高等学校総合文化祭

朗読部門 出場

#### 新聞部

全国高校新聞年間紙面審査賞  
 新聞部門 優良賞



**「3S歩行」迫る！ 10月1日(日)8:00 千里浜スタート  
 すべてのコンディションを整え、完歩をめざそう**